

地域学科 国際地域文化コース 募集予定 6人



わたしの
AO入試

AO入試の準備は“自分自身を知る”ことから

海外や地域について学びたい、芸術に関する学びも深めたい、国語教師になりたい。たくさんの希望を持つ私にピッタリの大学はどこかにないか。探し回った末やっと見つけたのが、鳥大地域学科の国際地域文化コースでした。AO入試で私の熱い気持ちを直接伝えたいと思い、夏休み前から受験態勢に入りました。第1関門は志願票の作成。志望理由はいくらでも書けるのに、自己推薦の内容が書けなくて。これまでに取り組んできたこと、自分の長所・短所など自己分析がしっかりできていなかったんです。人に伝わる文章にならず、何十回と書き直し。ようやく出来上がったのは出願締切当日、郵送の消印を押してもらえりギリギリの時間でした。

2次の必勝ポイントは早めの対策&粘り！

次なるハードルは1次面接。発言は棒読み、想定外の質問には言葉が詰まる等、練習では注意されてばかり。先生からのダメ出しメモを一生懸命覚えて本番に臨みましたが、入室した途端緊張で頭が真っ白に…。でもそのおかげで、普段の会話のように気持ちを述べることができました(笑)。第3の試練は2次の「自己表現」。地域で関わったボランティア活動のことを発表しようと思ったけど、説得力に欠ける気がして。悩んだ挙げ句、「言葉の違いから読み解くその国ならではの歴史文化」についてプレゼン形式で伝えることに。フリップを用意したり説明の練習をしたり、直前まで粘って必死で準備しました。やるべきことが多いので早めの対策を。

全文は
Webで!



2年

そえじま ゆうか
副島 優花さん

私立佐賀清和高等学校出身

MY FAVORITE “TOTTORI”

新鮮な日本海の幸を堪能

父と一緒に食べた海鮮丼の美味しさが忘れられません。マグロやタイ、イカ、ブリなど新鮮なネタがてんこ盛りで大満足！父のお気に入りには松葉ガニ。旨みの濃さに驚いていました。



2019年度AO入試 第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2019年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2020年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があり、他者の話によく耳を傾けて理解しようとする姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらを分かり易く表現する力を求めます。

自己表現	「自己の知識や経験」等に関する自己アピールを、1人あたり10分で行いました。
グループ ディスカッション	「ジェンダー論」に関する資料4点(A4版で6枚)を読んだのち、「女らしさ/男らしさ」や「トランスジェンダー」等について、1グループ10名で140分のグループディスカッションを行いました。進行は教員が行いました。
課題論文	「日本文化とは何か」「日本人のアイデンティティーはどこにあるのか」といった問題を「ドイツ」の事例との比較から論じた文章(A4版で3枚)を読み、90分で設問(2問)に解答するものでした。設問の内容は、著者の主張を要約するもの(200字以内)、および本文の内容を考え合わせながら、「自文化」を語ることについての受験生自身の見解を、具体例を挙げて論述するもの(800字以内)でした。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり10分の面接を行いました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性	思考の柔軟性
2次(自己表現)			○	○	○	
2次(グループディスカッション)	○	○	○	○		○
2次(課題論文)	○	○	○		○	
2次(面接)		○			○	